

# 平成27年度 学校評価実施報告書

## 3 2回目評価

学校名( 京都市立砂川小学校 )

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定					自己評価		学校関係者評価		
・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理		評価日 平成28年3月4日	評価日 平成28年3月11日	
					評価者・組織 職員会議		評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策	
1	確かな学力	・基礎基本の徹底と活用力の向上 ・言語活動の充実 ・コミュニケーション力の育成 ・学校図書館の活用・読書活動の充実	・一人1回以上の授業公開 ・計算タイムの充実 ・各教科、外国語活動でのコミュニケーション能力の育成 ・「学習の場」としての図書館整備・50冊表彰・地域図書館の利用・読書タイム	・家で、宿題や家庭学習をしていますか・ジョイントプログラムの結果 ・友だちと協力して学習ができていますか ・自分から進んで読書していますか	・前期より2.1Pアップした。・ジョイントプログラムは、少し全市を下回る学年もあった。 ・前期と変わらず95%ができてい。・相手を意識して話すことが定着してきた。 ・図書館を利用する児童が増えた。・「学習の場」としての整備が充実してきた	⇒ ・児童、保護者とも「授業はよくわかる」と答えているが、「身に付いている」かとの質問は「出来る」が減る。・図書運営支援員の支援で、学習に使える図書が増えた。また、資料の見方などの指導もされ、「学習の場」として活用されている	⇒ ・時間がたつと忘れてしまうので、生活の場に活かしたり単元が終わっても繰返し練習をする。・読書については、保護者にも読書の大切さを知ってもらい「読書は大切だ」という認識をもたせる取組が必要なのではないか。	⇒ ・読書の習慣化に努めるため、「親子読書の日」等、対象を保護者にも広げ、読書委員会と連携して働きかける。	
2	豊かな心	・豊かな体験活動 ・適切な児童理解 ・実態把握 ・異年齢集団の活動の充実	・PTA行事の計画、実施 ・地域行事の計画、実施 ・土曜学習の計画、実施 ・児童の言葉遣い ・あいさつ ・異年齢集団での児童会活動・学校行事の計画、実施	・PTAや地域の行事に参加していますか ・丁寧な言葉遣いをしていますか・元気に進んでいますか ・あいさつをしていますか ・スマイル活動・スマイル遠足・運動会の感想	・参加者人数は増えているが、回答は、若干減っている。 ・後期に入り児童の「出来た」との回答が減る。 ・スマイル活動で異学年が仲良くしているのは、温かい感じがする(保護者)	⇒ ・各行事に参加する人数は増えてきているが、回答を見ると減っている。内容について、それぞれ見直しながらかえていきたい。・異年齢集団の活動は、子どもも心待ちにしている。相手を慕いたわる気持ちが育っている。	⇒ ・体験したことを生かせるプロセスを取り入れていく。・多くの体験から他を思いやる気持ちが育っている。異年齢集団活動を続けていく。	⇒ ・子どもを取り巻く事件が多い。大人がしっかり見守る必要がある。・異年齢集団の活動は、見ても気持ちが温かくなる	⇒ ・学校運営協議会としてもPTA、地域行事に参加し、サポートを続ける。・大人として児童の言動しっかり見聞きし、指導もしていく。
3	健やかな体	・基礎的生活習慣の育成 ・体力の向上	・生活がんばり週間実施 ・生活アンケートの実施、分析 ・朝マラソン、タマラソン ・運動部の活動	・起きる時刻、寝る時刻 ・朝ご飯を食べましたか ・運動部の参加率	・朝7時までに起きる児童は学年に上がるにつれ減る。・寝る時刻は、全体的に遅くなった。 ・運動部参加率98.2%。退部者も減っている。	⇒ ・基本的生活習慣の意識は高まっている。しかし、家庭的に難しい児童がまだいる。	⇒ ・目標を設定し、達成感を味わわせることによって、困難を乗り越える力を付けていきたい。・基本的生活習慣は、家族で夜型になっている場合もあるので、啓発を続けたい。	⇒ ・部活動の種目がたくさんあつて指導者は大変だと思う。しかし、運動の苦手な子どもも入れるものがあつてよい。・大文字駅伝大会は、本当によく頑張った。	⇒ ・保護者と話す機会もあるので、保護者の先輩として伝えるべきことは伝えていく。
4	独自の取組	・小中一貫教育の充実 ・適切な児童理解 ・実態把握 ・情報発信の充実	・吹奏楽のタベ ・中学生の読聞かせ ・オープンスクール ・スマイル(校長)面談 ・積極的なHP更新	・小中合同研修会 ・小中合同主任会 ・学校は楽しいですか ・自分のことは好きですか ・学校は、各お便りやHPで学校の様子を伝えていますか	・小中合同研修会年3回 ・教務主任会、生指主任会月1回 ・学校が楽しい99.2% ・自分のことが好き61.9% ・伝えている97.4%	⇒ ・小学校と中学校の仕組みの違いがわかってきた。その上で同じ目標に向かって、研鑽を積んでいく。・様々な取組により、児童の自己肯定感や自己有用感が高まった。	⇒ ・中学校との交流を深めることで、先を見越し「今後どんな力が必要か」「そのために今何が必要か」を考えて指導をする。・HPの更新を続けていく。	⇒ ・校長先生と直接話せる機会があるのはいいことだ。子どもたちも思い出し出として残ると思う。・HPの更新については、皆さんよく頑張っている。	⇒ ・学校運営協議会としても「9年間で子どもを育てる」という意識をもって、学校と協働していく。

## 4 総括・次年度の課題

- ・あいさつ運動については、地域の方とともに今後も続けていきたい。また、家庭へも「あいさつは大切なことだ」と啓発していく。
- ・言葉遣いについては、大人から「TPO」を考えて使い分け、必要な言葉やマナーを身に付けさせる。
- ・学校運営協議会を活性化させ、学校を末長くサポートしていけるようにしたいというご意見をいただいた。